

グラフで見る東海経済 (2020年5月)

2020年5月27日

調査部 主任研究員 塚田 裕昭

今月の景気判断 ～新型コロナウイルス感染症の影響で悪化している

【今月のポイント】

- 新型コロナ感染拡大に伴う自粛等の影響で、景気は悪化している。本稿で示す3月、4月の指標は総じて非常に厳しい水準にある。
- 生産は輸送機械、汎用・生産用・業務用機械など機械類を中心に減少している。今後もコロナ影響で減少が続く見込み。
- 輸出は、アジア向け自動車部品、北米向け自動車など自動車関連の落ち込みが大きい。
- 個人消費では、巣ごもり消費の買いだめでスーパーが増加となる一方、百貨店は営業自粛で大幅減。消費マインドは過去最低を更新。
- 住宅着工は総じて弱含み。
- 倒産件数が増加基調に。

項目	現状
景気全般	新型コロナウイルス感染症の影響で悪化している
生産	減少している
輸出	減少している(↓)
設備投資	弱含んでいる
雇用	改善が一服している
賃金	持ち直しの動きがみられる
個人消費	減少している(↓)
住宅投資	弱含んでいる
公共投資	増加している

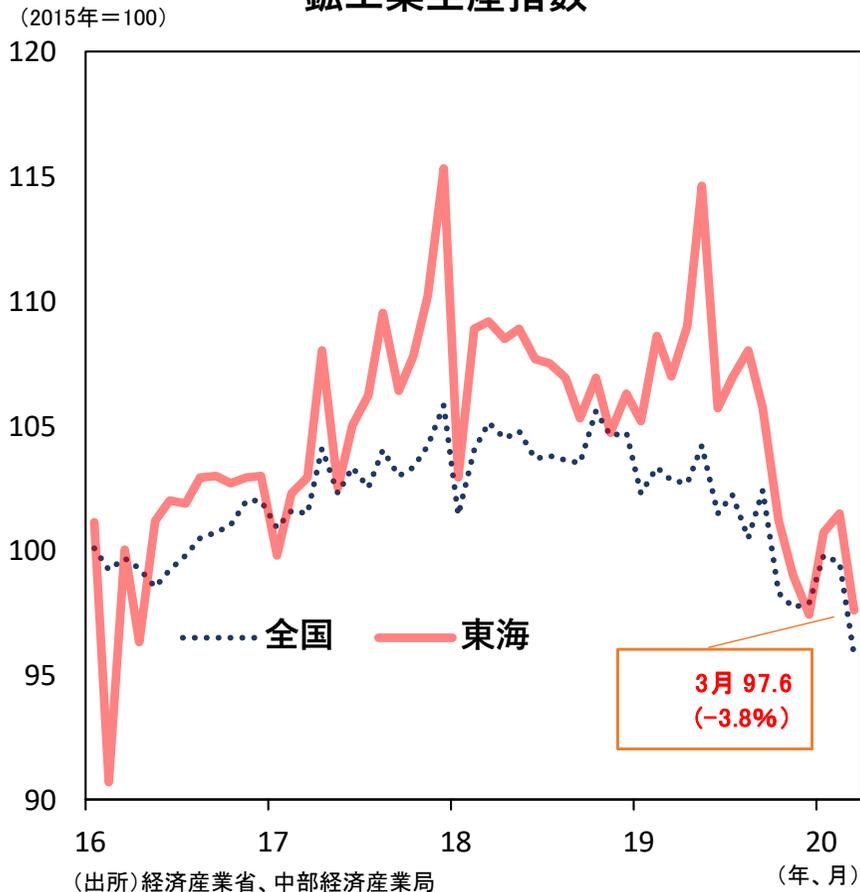
(注)輸出は「弱含んでいる」から下方修正

個人消費は「新型コロナ影響による下押しがみられる」から下方修正

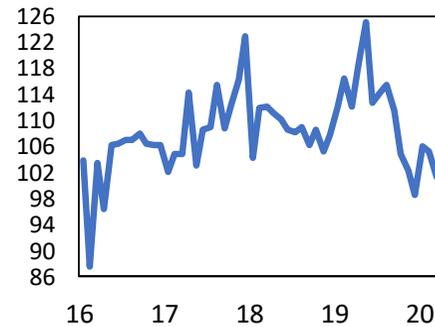
生産

3月の鉱工業生産は前月比-3.8%と3カ月ぶりに減少(前年比-6.5%)。コロナ影響による海外需要減、及び一部に供給制約もあり、今後も減少が続く見込み。

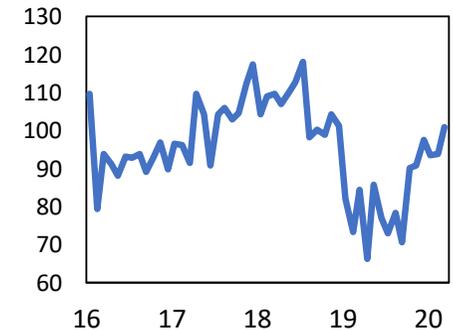
鉱工業生産指数



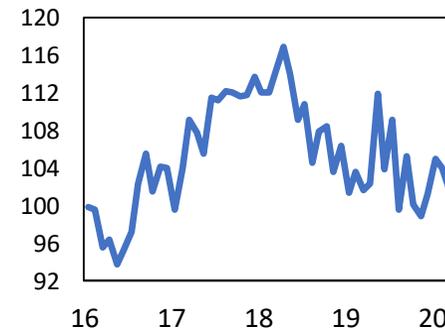
輸送機械



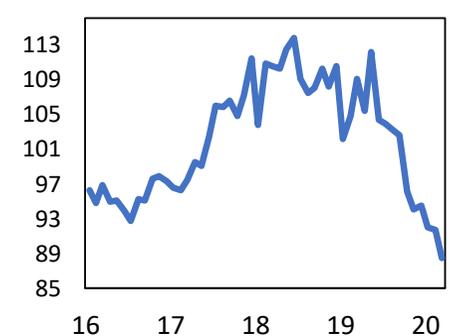
電子部品デバイス



電気機械



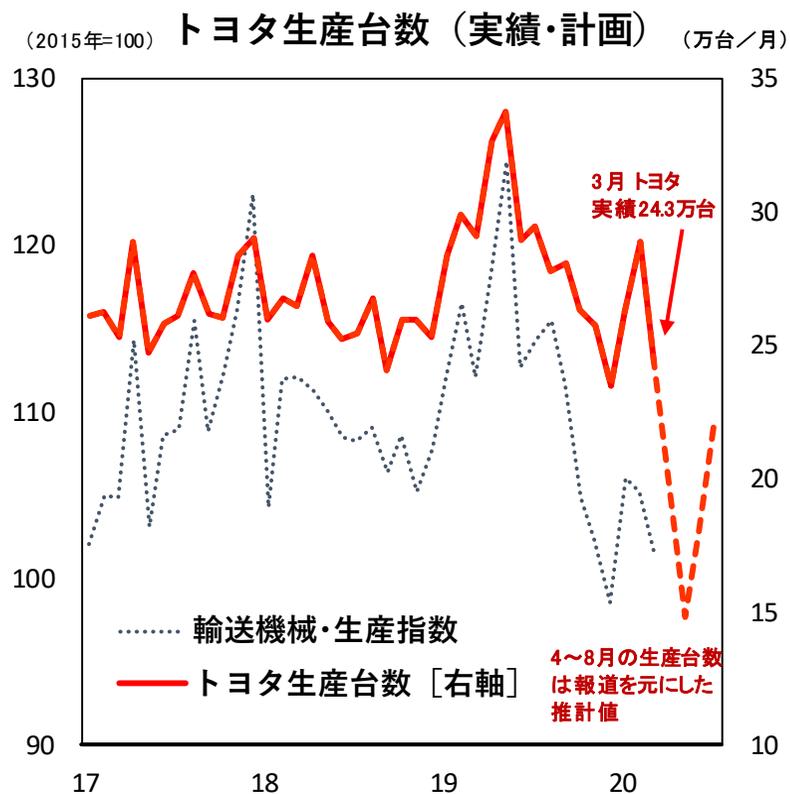
汎用・業務用・生産用機械



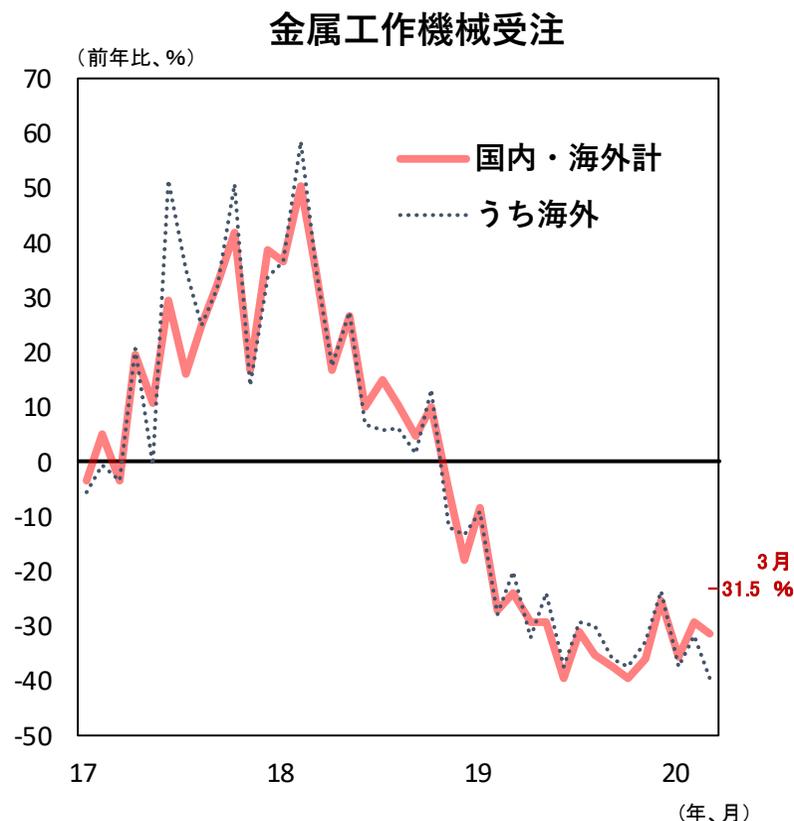
生産（金属工作機械、トヨタ生産計画）

3月のトヨタ生産台数（弊社試算季節調整値）は24.3万台と減少。4月、5月はさらに減産、5月を底にその後は回復の計画。

金属工作機械受注は前年比3割のマイナスが続いている。



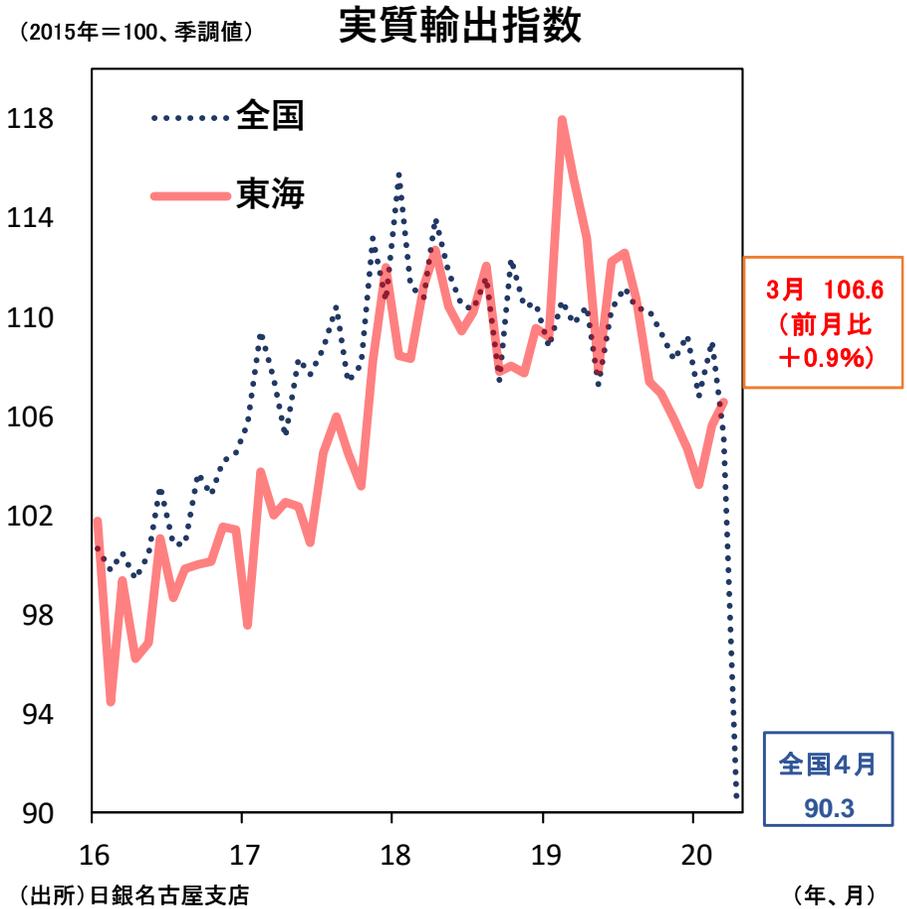
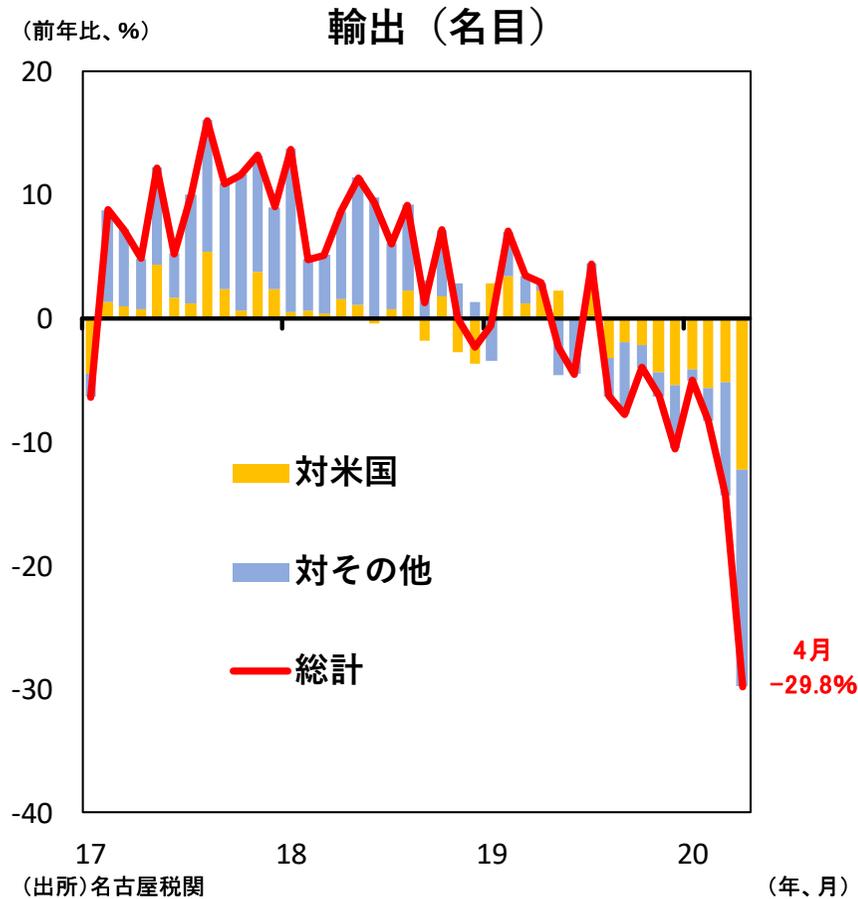
(注)トヨタ生産台数の季節調整は当社、輸送機械・生産指数は東海3県 (年、月)
(出所) 中部経済新聞、中部産業局「鋳工業生産指数」



(出所) 中部経済産業局「金属工作機械受注」

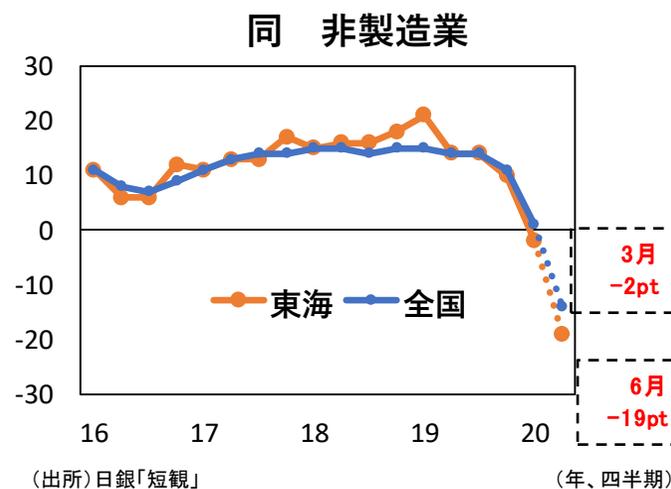
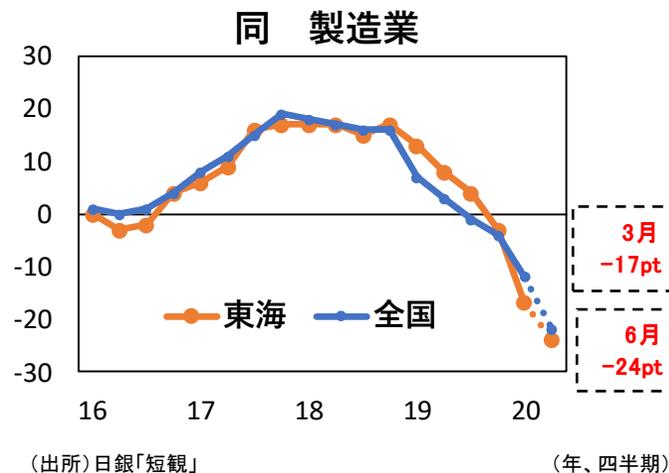
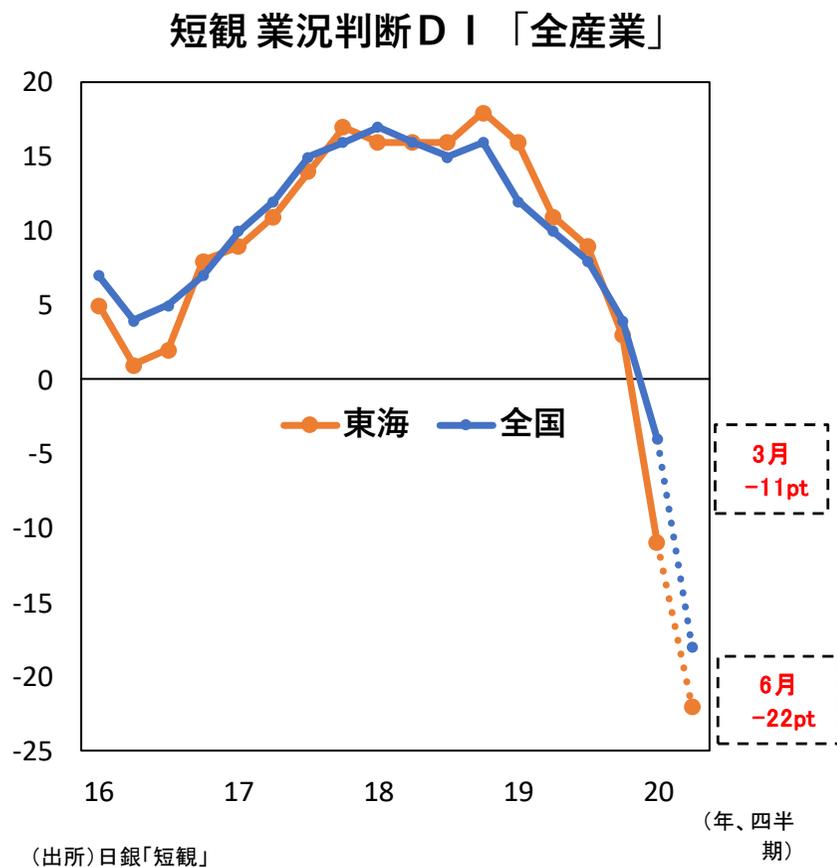
輸出

4月の名目輸出額は前年比-29.8%。すべての地域向けで減少となり、全体での減少幅が拡大した。
3月の実質輸出指数(季節調整値)は前月比+0.9%と小幅ながらも2ヶ月連続で増加。



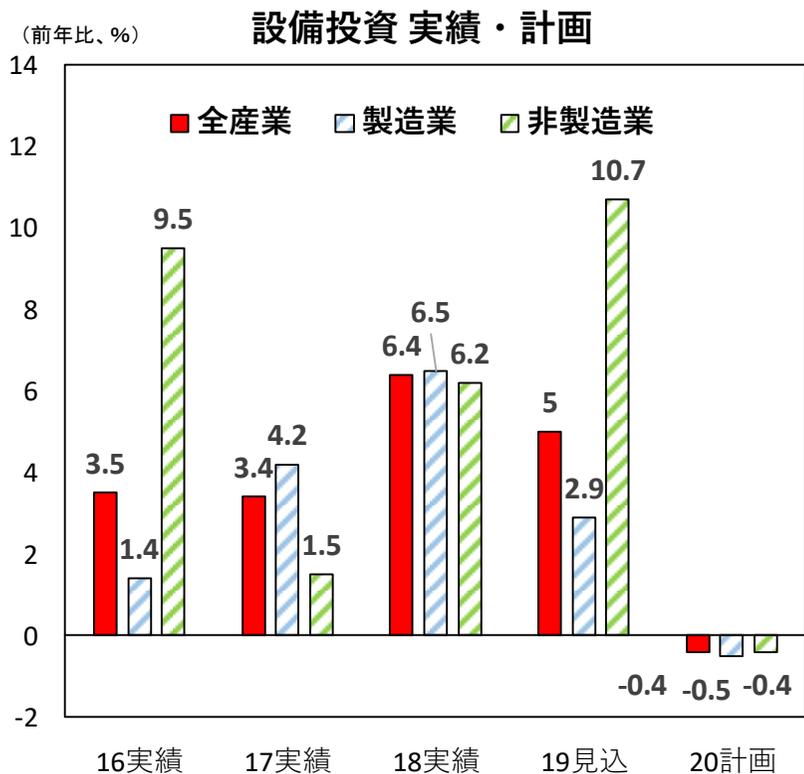
企業景況感(日銀短観) ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月の業況判断DIは全産業で-11ptと「悪い」超に。製造業は-17pt、非製造業は-2pt。先行き(6月)については、全産業、製造業、非製造業、いずれも悪化が見込まれている。



設備投資 ※以下は4/1公表の3月調査。6月調査は7/1公表予定

日銀短観3月調査では、19年度の設備投資見込は全産業で前年比+5.0%へ下方修正。20年度については全産業同-0.4%(製造業-0.5%、非製造業-0.4)%といずれも減少する計画。



(出所)日銀名古屋支店「短観」

(年度)

設備投資額 (前年比%)

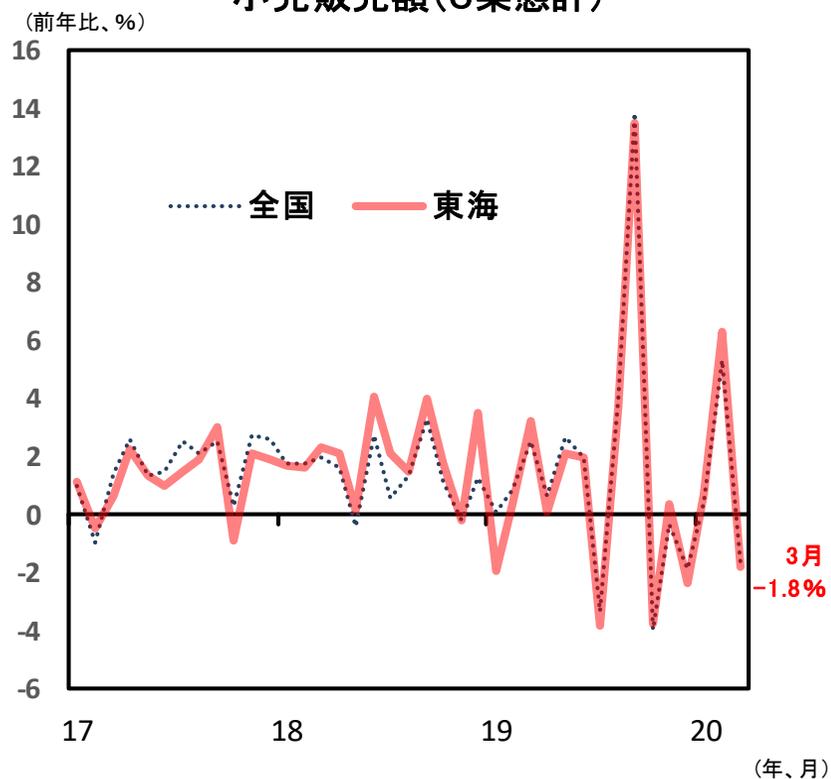
	18年度 実績	19年度 見込		20年度 計画
		今回	12月調査時 [差異]	
全産業	6.4	5.0	6.6 -1.6	-0.4
製造業	6.5	2.9	4.7 -1.8	-0.5
非製造業	6.2	10.7	11.7 -1.0	-0.4

個人消費(小売売上、自動車販売)

小売販売額は3月、前年比-1.8%と3ヵ月ぶりに減少。緊急事態宣言下の活動自粛の影響で百貨店、家電販売店などが減少した。一方、在宅のための買いだめ需要で、スーパー、ドラッグストアの売上は増加した。

新車販売は急減している。

小売販売額(6業態計)



(出所) 商業販売動態統計

(注) 百貨店、スーパー、コンビニ、ドラッグストア、家電量販店、ホームセンターの合計

新車販売台数(含む軽)

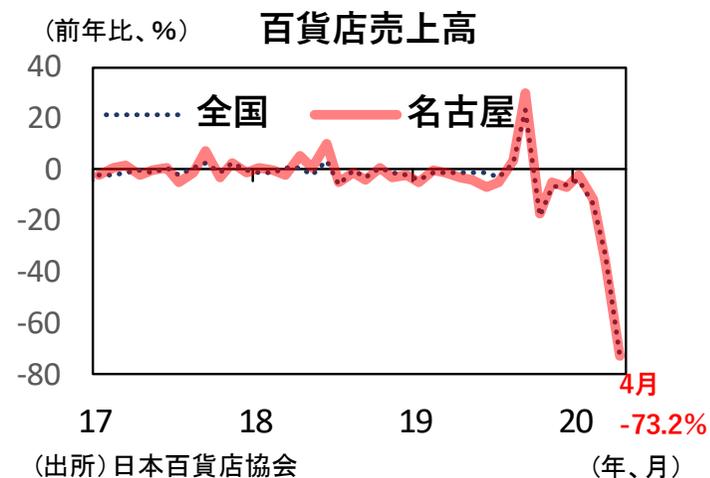
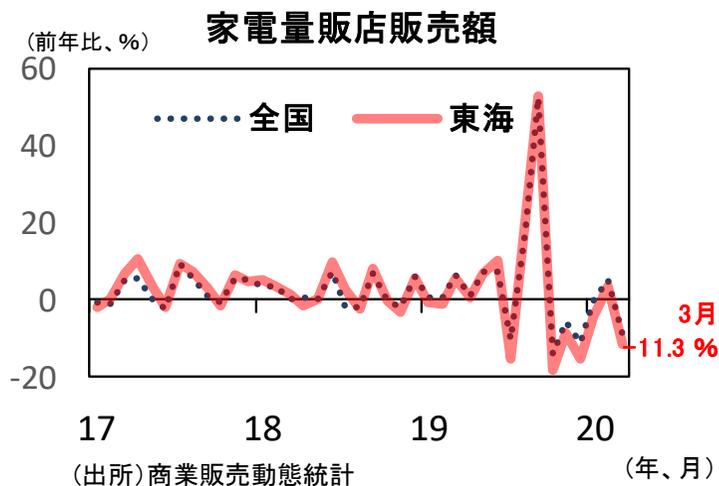
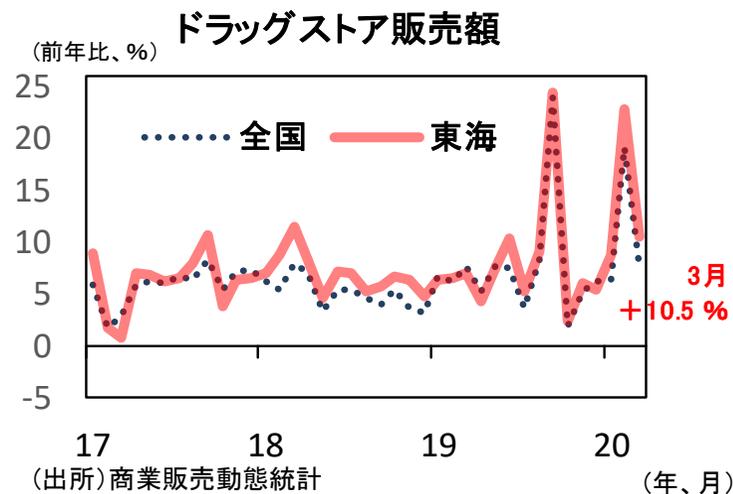
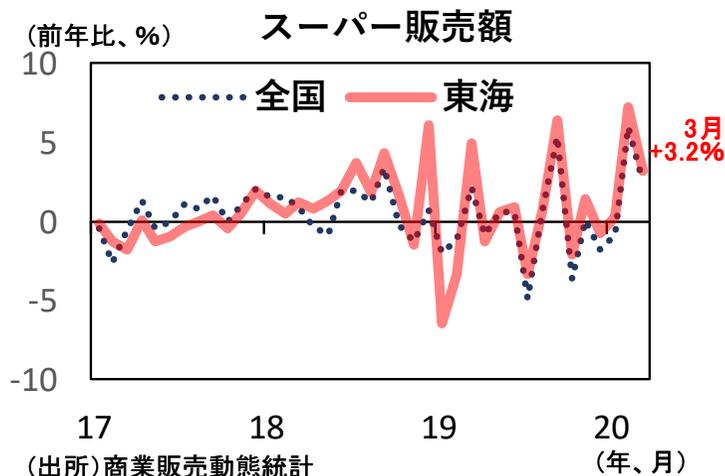


(出所) 全国軽自動車協会連合会、日本自動車販売協会連合会よりMURC作成

個人消費(業態別)

3月は、スーパー、ドラッグストアは前年比で増加。家電販売が減少。

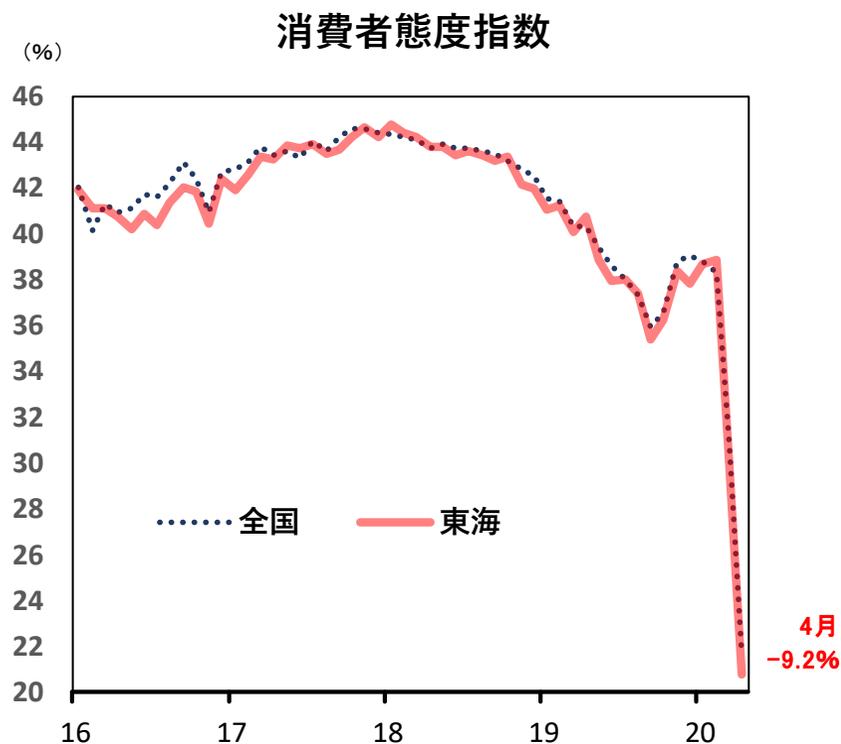
4月の百貨店販売は、緊急事態宣言下の営業自粛の影響で前年比-73.2%の大幅減。



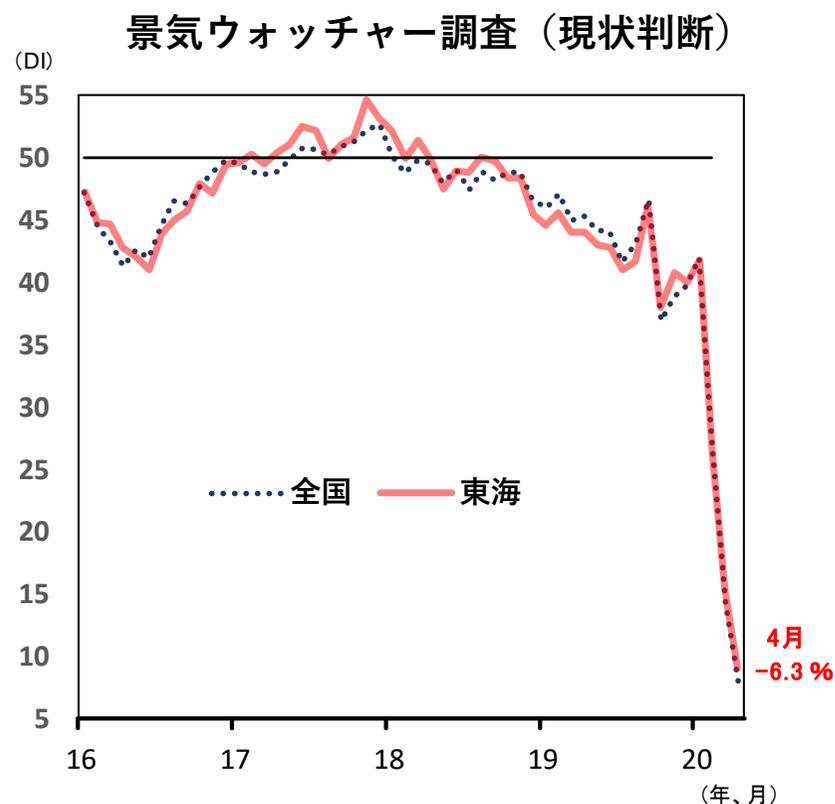
マインド・景況感

4月の消費者態度指数は20.8(前月差-9.2%pt)と大幅な悪化が続く。

4月の景気ウォッチャー調査(現状判断DI)は、9(同-6.3%pt)と悪化が続き、数字のとれる2002年1月以来の最低水準を更新した。



(注) 今後半年間の見通し：当社試算季節調整値
(出所) 内閣府「消費動向調査」



(出所) 内閣府「景気ウォッチャー調査」

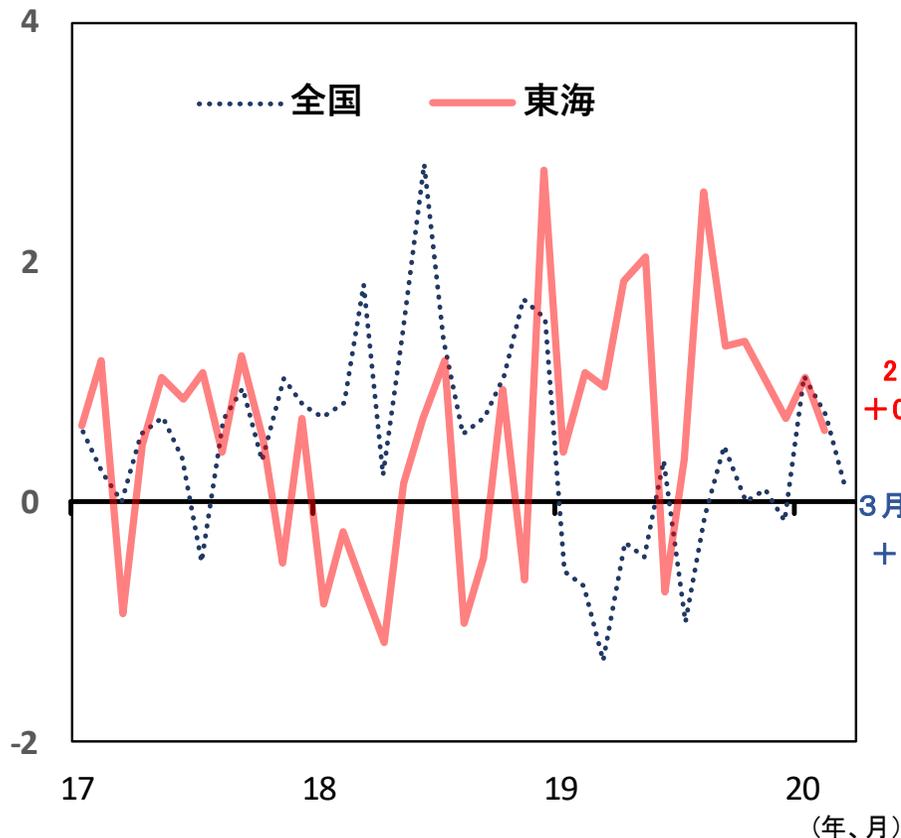
賃金・雇用

2月の名目賃金指数は、前年比+0.6%と前年比プラスが続いた。

一方、2月の求人倍率は低下が続く。1-3月期は就業者数が減少、失業率も上昇した。

賃金上昇率

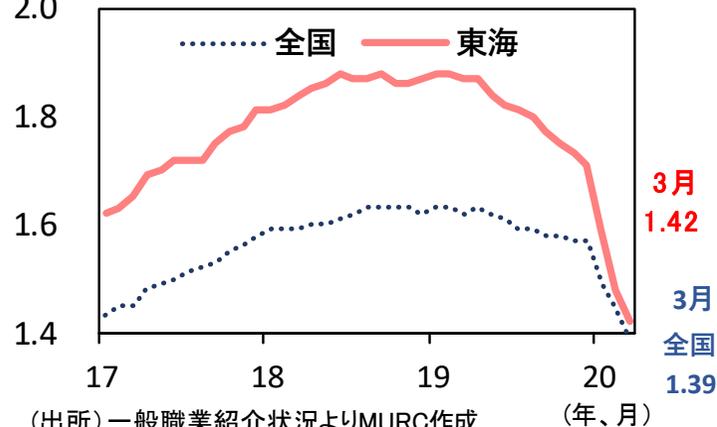
(前年比、%)



(出所) 名目賃金指数(所定内給与)、愛知、三重、岐阜の常用雇用者指数よりMURC作成

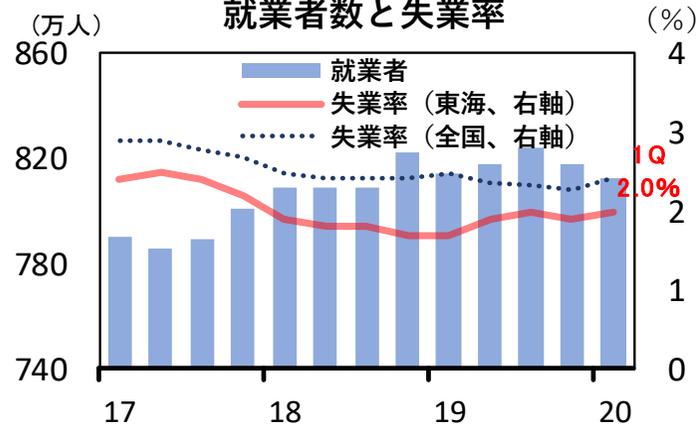
有効求人倍率

(倍)



(出所) 一般職業紹介状況よりMURC作成

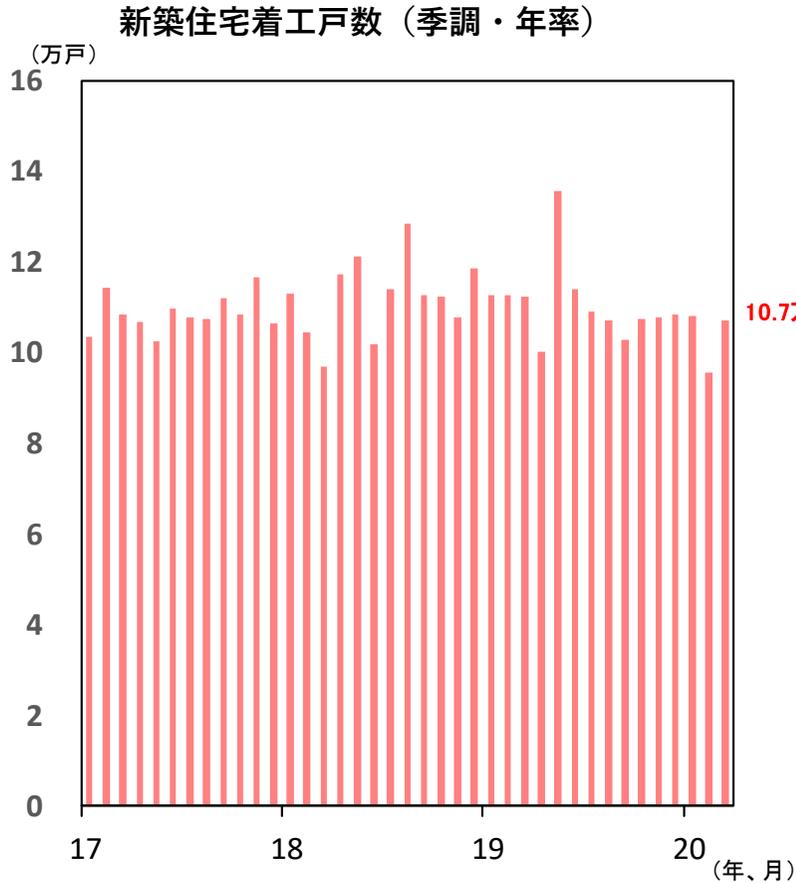
就業者数と失業率



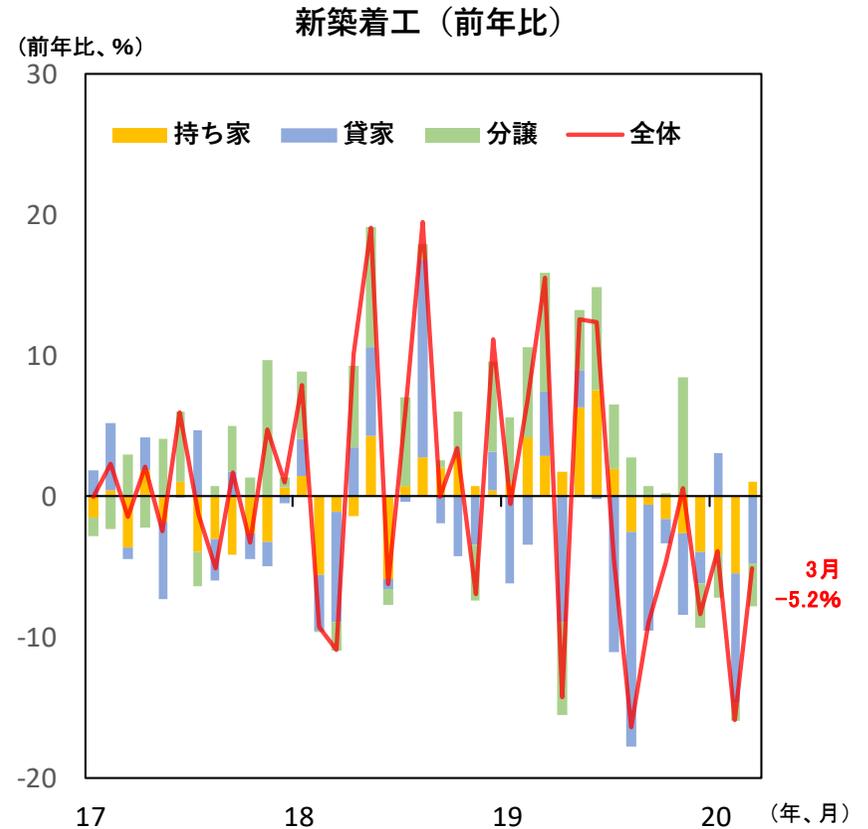
(出所) 労働力調査よりMURC作成

住宅投資

3月の住宅着工は季調・年率10.7万戸となった。原数値では前年比-5.2%。貸家、分譲の減少が続いた。



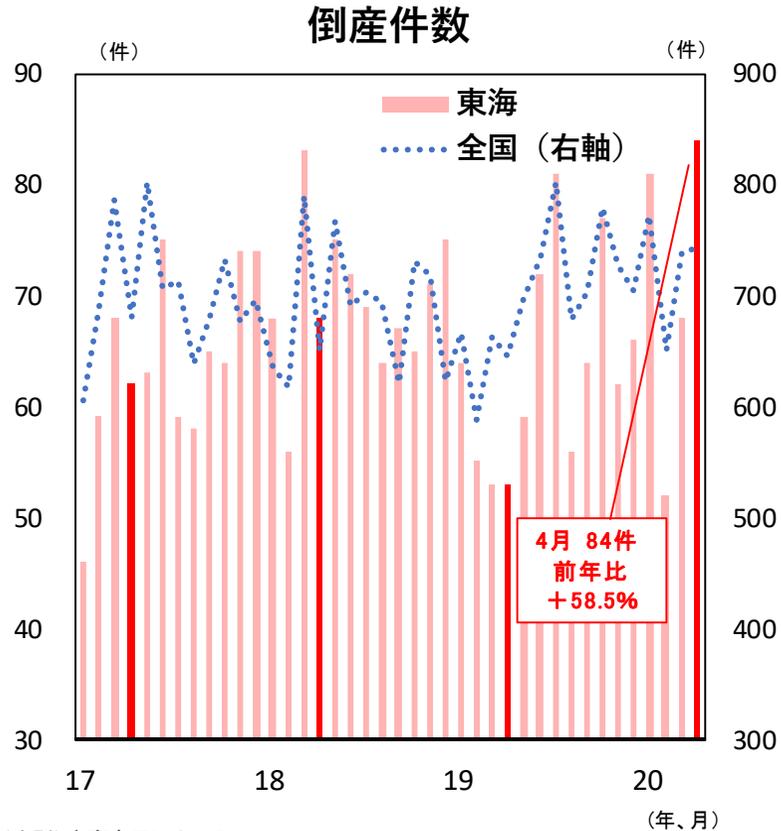
(出所) 建築着工統計よりMURC作成



(注) 愛知、三重、岐阜、静岡の合計(出所)「建築着工統計」

倒産

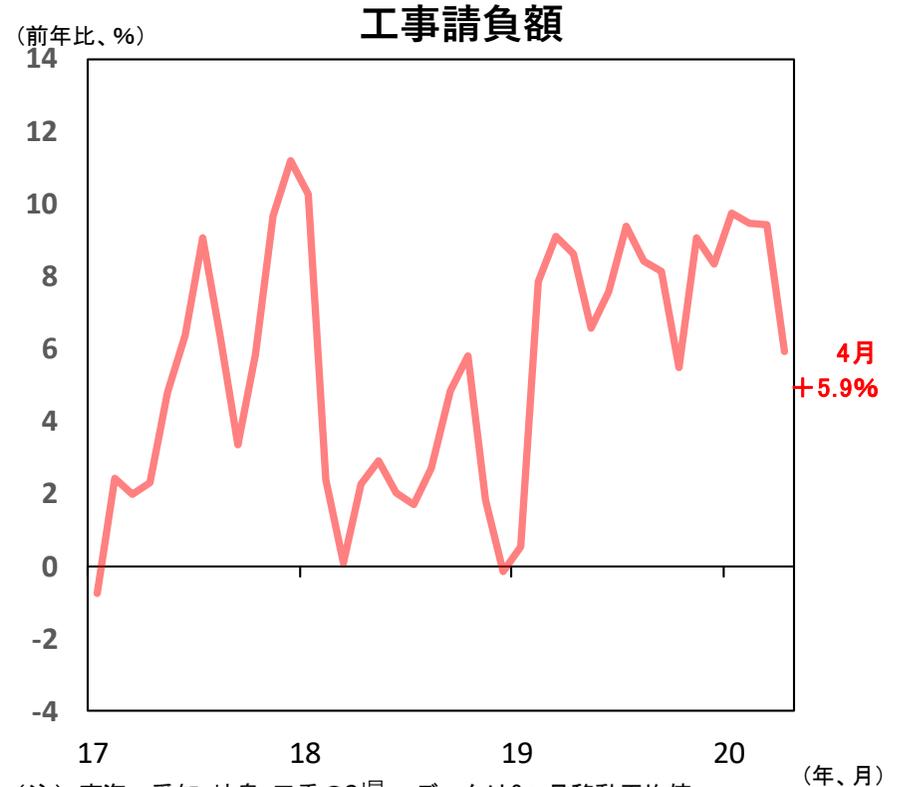
4月は倒産件数が急増。



(出所) 東京商エリサーチ

公共投資

公共投資は増加トレンドが続く。



(注) 東海=愛知、岐阜、三重の3県。データは3ヶ月移動平均値。

(出所) 保証事業会社協会、北海道建設業信用保証(株)、東日本建設業保証(株)、西日本建設業保証(株)「公共工事前払金保証統計」

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 TEL:03-6733-1070 E-mail:chosa-report@murc.jp

〒108-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

－ ご利用に際して －

- 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください